

橋建協

(社) 日本橋梁建設協会
図 書 資 料

NO.2 虹橋一 2

2

社団法人 日本橋梁建設協会

東京都中央区銀座西二丁目一番地

ま え が き

副 会 長 加 藤 染 雄

旺盛な公共投資にささえられ、当業界も活発に推移し会員各位共順調な発展過程にあることは誠に御同慶に堪えません。

しかしながら顧みますに業界といたしましては、対内外にわたる種々の問題をかかえておりまして、手放しの樂觀を許さないものがあるかと存じます。これ等の中には各社、各社の特殊事情に基づくものもありましょうが、業界共通の立場において解決を図らなければならないものも多々あると存じます。いわく、発注者側に対する種々の要望案件、輸出振興に対する諸施策、対総合建設業との関係、人件費を始めとする原価高騰に対する問題等々であります。これ等につきましては一朝一夕に解決出来ないものが多いのでありますが、協会理事者側といたしましては、うまずたゆまず努力いたして参りたく存じております。

会員各位におかれましては、大処高処に立ち、小を捨て大を採り、業界共通の利益確保のため大同団結し、協会活動に対してなお一層の御協力、御支援を賜わりたく存ずる次第でございます。

ここに日頃私の信条の一つといたしております「以和為貴」の一語を掲げ巻頭のことばの結びといたします。

目 次

1. ……まえがき
2. ……理事会議事録
3. ……運営委員会議事録
4. ……各委員会の動き
技術委員会／市場委員会
5. ～6. ……労務委員会／資材委員会
6. ～7. ……輸送委員会／本州四国連絡架
橋委員会
7. ～8. ……事務局だより／行事報告
9. ～10. ……委員会名簿
11. ～13. ……役員名簿／会員名簿
14. ……あ と が き

橋 建 協 No. 2 1966.11 (非売品)

編集兼発行人・額 額 八 郎

発 行 所・社団法人日本橋梁建設協会

東京都中央区銀座西2～1

鉄骨橋梁会館2階

T E L (561) 5225・5452

理 事 会 議 事 録

第 8 回

日 時 昭和41年 8 月17日 正午より
場 所 鉄骨橋梁会館 3 階会議室
出席者 石川島 播磨(石田 俊夫)
川 田 工 業(鈴木久門)
汽 車 製 造(大谷寿宏)
駒 井 鉄 工(稲垣茂樹)
高 田 機 工(三浦文次郎)
日 本 橋 梁(加藤 茂一)
松 尾 橋 梁(鳴尾正太郎)
三 菱 重 工 業(鎌田正義)
宮 地 鉄 工(富士栄一)
横 河 橋 梁(御園 一雄)
事 務 局(額 額 八 郎)

審議事項

1. 社団法人日本道路協会未加入会員の加入について
7 月15日日本道路協会第 128 回常務理事会に加藤副会長出席の際橋建協の会員中未加入会員に是非入会願いたいとの要請があつた。よつて別表の如き案により未加入会員14社に対し新規加入方を依頼することとした。
2. 第13回国際道路会議賛助金割当について
標記について日本道路協会長より別紙の如き協力方依頼があり橋建協への割当金額は360 万円程度を拠出願いたいとのことである。よつて近く全会員を召集し道路協会側の説明会を開催すると共に割当表案を作成し全会員に諮ることとした。
3. 旬刊「高速道路」購読について
標記旬刊紙について特に建設省として推薦するので会員に協力を願いたいとの依頼があつた。よつて稲垣理事に改め建設省に問い合わせて貰つた上で処置することとした。
4. 東京湾横断架橋促進中央大会参加依頼について
東京湾総合開発協議会々長東 竜太郎氏より来る 9 月 8 日ホテルニュージャパンにて標記大会を実施するので橋建協として参加願いたいとの依頼があつた。よつて橋建協としては理事の方々に出席願うこととした。

報告事項

- (1) 今回の内閣改造により建設大臣が更迭になつたので 8 月10日橋本新大臣へ会長、副会長で挨拶に伺つた。
- (2) 建設省主催の「道路展」が東京は10月下旬～11月上旬(代々木国立競技場)大阪11月下旬～1週間(会場未定)にて行われることになつたので協会より賛助金20,000円を出すこととした。

第 9 回

日 時 昭和41年 9 月13日 正午より
場 所 鉄骨橋梁会館 3 階会議室
出席者 石川島 播磨(石田 俊夫)
川 田 工 業(鈴木久門)
汽 車 製 造(大谷寿宏)
駒 井 鉄 工(小 塚 博之)
高 田 機 工(三浦文次郎)
日 本 橋 梁(木下利光)
松 尾 橋 梁(黒瀬庄慶)
宮 地 鉄 工(富士栄一)
横 河 橋 梁(加藤 染雄)
事 務 局(額 額 八 郎)

審議事項

1. 国際橋梁会議「吊橋に関するシンポジウム」
開催に際し調査委託について
今般リスボンに於て開催される(11月 7 日～11 日)標記会議に当協会長大橋研究委員会委員長平井 敦氏(東大教授)が出席され研究論文を発表されることとなつているので、この機会に欧米各国の吊橋に関する新技術を導入すると共に今後の長大橋研究委員会は勿論本州四国連絡架橋調査委員会の活動に資する意味で「シンポジウム」の報告並に諸資料を蒐集願うこととし、協会より調査委託費として120 万円を支出することに決定した。
2. 東京湾総合開発協議会加入について
標記協議会は事業の一端として東京湾横断架橋の促進に加入しており当会としても関連があるので兼ねてより同会から入会の勧誘があつたので理事会に諮つた処入会することとなつた。

尚同会の規約により会費1 口5 万円で1 口会員は平会員、2 口会員は理事となるので本会は2 口会員となることにした。

運 営 委 員 会 議 事 録

☆7月13日

1. 建設省主催国土建設週間の賛助金として20口(200,000)円を拠出することに決定
2. 建設省近畿地方建設局より昭和41年度鋼構造施行調査委託金(本州四国連絡架橋調査委員会)が3,000,000円に決定した
3. 建設事業振興会発刊「日本建設大鑑」購入について一部購入に決定
4. 協会事務所移転の件
鉄骨橋梁会館2階に空室が出来たためそこへ移転することを決定

☆7月26日

1. 東京湾横断架橋促進中央大会各種団体懇談会へ事務局長出席を決定
2. 従貫自動車道5路線着工特集号広告掲載の件
10,000円
3. 日本道路協会加入及び会費の件
事務局にて案を作製し会員に諮ることとした

☆8月8日

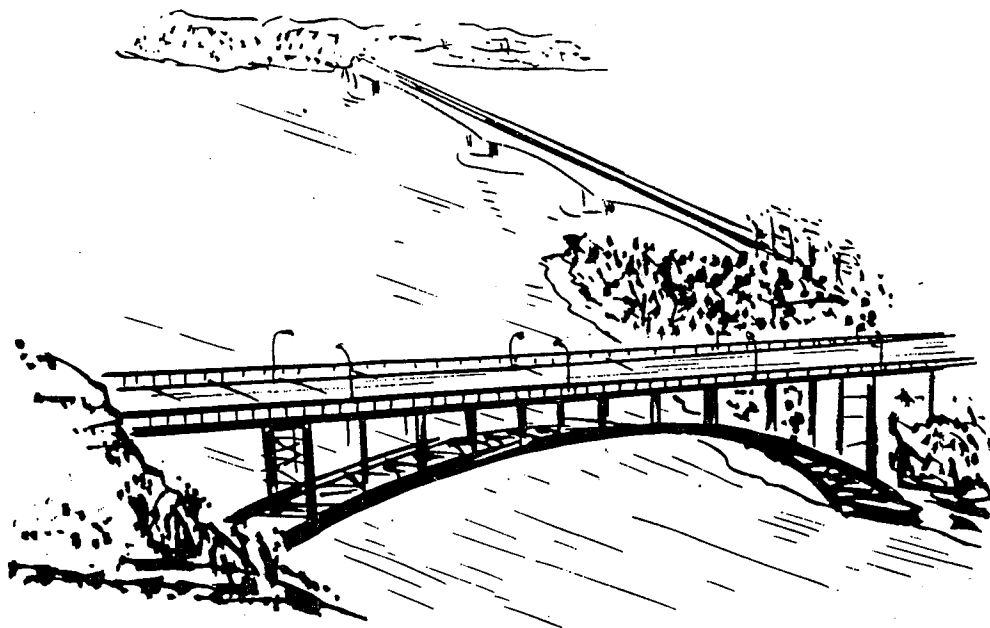
1. 「旬刊高速道路」の広告及び購読について 年1回5,000円の広告及び1部購読賛助することに決定
2. 日本道路協会会費及び入会の件
3. 国際道路会議寄付金について
4. 新建設大臣に挨拶の件

☆9月5日

1. 日本道路公団小田原厚木工事事務所より架設費の見積依頼の件について
2. 日本工業経済新聞社主催「東名道建設」に関する座談会後援について
3. 首都高速道路公団発行の「首都高速」広告について 年10回で10,000円
4. 8月7日午後2時より国際道路会議寄附金その他につき打合せ会開催を決定

☆9月9日

1. 国際橋梁会議吊橋シンポジウムへ出席の平井敦氏に調査依頼を決定



各 委 員 会 の 動 き

技 術 委 員 会

★8月5日 幹事会開催

於 鉄骨橋梁会館3階会議室

1. 設計・製作・架設工事の3分科会の調査研究項目の検討した結果次の如く列挙したがこれを各分科会で検討し最終的に決定することとした。

1) 設 計 分 科 会

- イ 現行仕方書の再検討
- ロ 高欄伸縮継手の標準設計の作成
- ハ 曲線橋の略算式の研究
- ニ コンサルタントに対する設計上の問題点
- ホ ハイテンボルトの接合法の研究
- ヘ 各種桁の標準化の研究

2) 製 作 分 科 会

- イ 製作仕方書の再検討
- ロ 製作要領書の作成
- ハ ハイテンスチールに対する適正工具の開発
- ニ 溶接長の合理的換算率の研究
- ホ 半自動溶接の普及について
- ヘ 各種標準橋梁の歩掛りの研究
- ト 80キロ鋼の溶接の研究

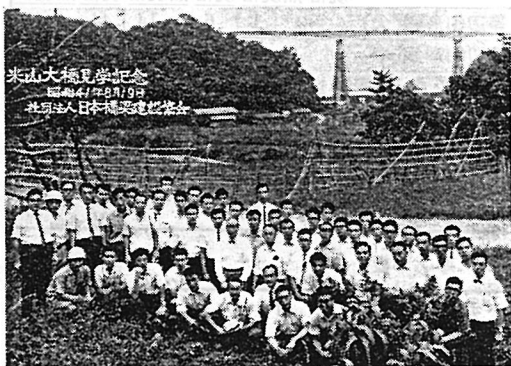
3) 架 設 分 科 会

- イ 現行仕方書の再検討
- ロ 架設の安全性の研究（ケーブルクレーンに対する安全率の問題）
- ハ 架設工事の方法別標準費用の研究
- ニ 床版工事の標準費用の研究
- ホ ハイテンボルトの現場作業の研究

2. 橋梁現場架設工事見学会開催を決定
見学場所 米山大橋（北陸地方建設局施工）
見学期日昭和41年8月19日

★8月19日 橋梁現場架設工事見学会開催

参加人員 50名（米山大橋見学）



★9月6日 幹事会開催

於 協会会議室 10時30分より

1. 鉄骨橋梁年鑑編集打合せ

市 場 調 査 委 員 会

★7月14日 幹事会開催

於 鉄骨橋梁会館3階会議室 10時より

予ねて懸案の横断歩道橋の製作工数及び架設費について各社の実債に基き検討した結果平均値は次の通であつた。

1. 製作工数について

種 別	細 別	工 数
橋 体 工	二主構単純鋼板桁	19 ~ 23
	二主構門型ラーメン	19 ~ 23
階 段 工	一般的なもの	28 ~ 30
	特殊なもの	35 ~ 37
高 欄 工	簡易なもの	24 ~ 26
	普通なもの	28 ~ 30
	複雑なもの	31 ~ 33

2. 架設費内訳について（30tをベース）

項 目	金額円/t	項 目	金額円/t
製 品 横 取 費	1,000	足場丸太損料	700
運 搬 費		トラッククレーン機械損料	5,000
架 設 段 取 費	3,000	コンブレッサ	1,500
架 設 費	8,000	そ の 他	800
取 付 鉸 鉚 費	6,000	合 計	26,700
消 耗 品 費	700		

★9月28日 幹事会開催

於 協会々議室 11時より

鋼道路橋原価計算表（昭和41年度版）の編集方針の検討について

12月の月上旬に刊行を目標に編集作業を行うことに決定

労 務 委 員 会

★7月15日 委員会開催

1. 建設業退職金共済制度への加入促進について
労働省労政局長より協力依頼ありたる件報告。
2. 41年度給与支給状況調査について
41年7月末日現在にて別紙調査様式により調査
を行う旨報告、各社に協力を依頼した。
3. 41年度夏期一時金について
出席各社より対組合との交渉等経過報告あり、
それぞれ意見の交換を行った。
4. 委員長より労災防止の問題を労務委員会の事業
として今後推進して行きたい旨報告。
5. その他一般労務問題について懇談を行った。

★8月22日 幹事会開催

1. 関西支部に於ける労務委員会の申し入れ事項に
ついて
(イ) 関西支部労務委員会に委嘱状を出す件（鉄骨
橋梁会と合同で（協連）各種文章を出してい
る為）橋建協より関西支部労務委員会に委嘱
状を出すことに決る。
(ロ) 昭和41年度給与支給状況調査の件
昭和41年度は従来通り取りまとめることと
し、昭和42年度より4月ベースアップ後直ち
に調査を行うこととなった。
2. 東西合同労務幹事会開催について
10月7～8日を予定、場所は浜松にて開催する
旨報告。
3. 労働省、労災補償関係担当者との懇談会開催に
関する件
9月初めに開くことに決定。

★9月12日 労災補償問題に関する懇談会開催

協会 幹事出席

労働省 労災補償課より担当官3名出席

労災補償問題について種々懇談を行った。

資 材 委 員 会

★7月27日 幹事会開催

於 鉄骨橋梁会館3階会議室 12時より

1. 鉄鋼メーカー側と懇談会を開催の件
2. 鋼材倶楽部の需要者部会に資材委員長が出席し
最近の鋼材の入手状況が困難である旨述べたこと
についての報告あり
3. 鋼材のJIS規格改訂についての説明会開催に
ついて
4. 最近の鋼材市況について会員各社よりアンケー
トを取り入手状況の調査をすることに決定
尚調査結果については鋼材倶楽部及びこれを取
引委員会に提出すること

★8月15日

鋼材入手状況調査表を全会員に発送

★8月25日 幹事会開催

於 鉄骨橋梁会館3館会議室 13時より

1. 鋼材入手状況調査について
調査結果を関係先に提出すること。
2. 鋼材のJIS規格の調査について説明会を開催
することに決定

★8月27日

全会員に鋼材入手状況調査結果の報告を送付。調
査結果は次の通り

提出のあつたもの 59社

1. 形 鋼

	すぐ手に入る		普 通		入手困難	
	規格	無規格	規格	無規格	規格	無規格
等辺山形鋼(大)		1	6	14	44	41
等辺山形鋼(中)		5	10	20	40	30
不等辺山形鋼	1	1	1	15	48	40
溝 形 鋼		1	2	13	47	40
平 鋼	1	1	17	33	28	12
H 形 鋼		9	7	9	45	45
軽 量 形 鋼		1		4	37	47

2. 厚 板

入 手 期 間	規 格 材	無 規 格 材
1ヶ月～2ヶ月	8 社	26 社
2ヶ月～3ヶ月	23 社	12 社
3ヶ月～4ヶ月	21 社	7 社

3. 規格材と無規格材の使用比率

規格 80%、無規格 20% (橋梁メーカー)

規格 20%、無規格 80% (鉄骨メーカー)

厚板と形鋼の使用比率

厚板 80%、形 鋼 20% (橋梁メーカー)

厚板 30%、形 鋼 70% (鉄骨メーカー)

4. 要望事項

納期について 納期短縮 (1~1.5ヶ月) と納期

の厳守を望む

価格について 長期安定を望む

輸 送 委 員 会

★ 7月11日 幹事会開催

1. 高速道路横羽線工事の為の交通規制について報告、パンフレット配布。
2. 会報発行についての報告
3. 原価計算表の輸送費についての資料集収を依頼
4. 輸送講演会開催について打合せ
5. 国鉄に対し長物貨車製作要請の件について委員長より報告、今後も要請を続けて行くことになった。
6. その他、輸送現況について意見交換を行った。

★ 8月23日 講演会開催

1. トラック運賃精算の方法案について、
講 師 (社) 東京トラック協会

永 瀬 好 藏 氏

★ 8月23日 幹事会開催

1. 鋼道路橋原価計算表の輸送費について、
(北川委員長作成のトラック輸送費の検討を行った。)

本州四国連絡架橋調査委員会

★ 7月8日

本州四国連絡道路調査事務所へ鎌田委員長・久末製作分会長・明石製作副分会長・池田架設工事分会長・加藤架設工事副分会長・瀬瀬事務局長が出向き本年度の調査方針等について詳細の打合せを行った。

★ 7月21日 本委員会開催

於 鉄骨橋梁会館3階会議室 12時より
本年度の調査内容及び方針について本委員に説明をした。

★ 8月5日 製作・架設工事分会開催

於 鉄骨橋梁会館3階会議室 14時より
本年度の調査内容及び方針について各専門委員に説明をした。

★ 8月13日 製作分会第1回関西班打合せ

於 日本橋梁(株) 14時より
1. 限界ゲージについて検討

★ 8月13日 製作分会第1回関東班打合せ

於 協会々議室 13時より
1. エレクトロスラグ溶接の検討

★ 8月13日 架設工事分会第1回関東班打合せ

於 鉄骨橋梁会館3階会議室 14時より
1. 縮刷版について
2. 多径間吊橋の架設工法と問題点の進め方について
3. グランドスピニングの基本的検討
4. 5S-H1,500Dに於けるグランドスピニングの問題点について

★ 8月17日 架設工事分会第1回関西班打合せ

於 日立造船会館 9時より
1. 多径間吊橋 4S-H1,200Dの架設計画検討方針の討議

★ 8月24日 架設工事分会第2回関東班打合せ

於 鉄骨橋梁会館3階会議室 14時より
1. 5S-H1,500Dのグランドスピニング工法の検討

★ 8月27日 製作分会第2回関東班打合せ

於 協会々議室 13時より

1. 塔柱の外縁、縦シームにエレクトロフラグ溶接を適用する件
2. 塔柱のブロック割について

★ 8 月 27 日 製作分会第 2 回関西班打合せ

於 汽 車 製 造 (株) 11 時より

1. 限界ゲージについて
2. 各社のコード製作方法の現状について

★ 8 月 30 日 第 2 回架設工事分会

於 日 立 造 船 (株) 9 時 30 分より

1. 多径間吊橋の架設法について検討

★ 9 月 9 日 製作分会第 3 回関東班打合せ

於 協 会 ャ 議 室 13 時より

1. スパン 1,300m、800m の塔柱について検討
2. 塔柱外縁部、縦シームの現場エレクトロスラグ溶接についてボルト締めの場合と比較検討
3. 多径間吊橋の A 型タワーに関する問題点の検討

★ 9 月 12 日 製作分会第 3 回関西班打合せ

於 汽 車 製 造 (株) 13 時より

1. 限界ゲージの問題点について

★ 9 月 13 日 架設工事分会第 3 回関東班打合せ

於 協 会 ャ 議 室 9 時 30 分より

1. ストランドソケットの検討

★ 9 月 13 日 架設工事分会第 2 回関西班打合せ

於 日 立 造 船 (株) 9 時より

1. 主塔架設計画検討方針の討議

★ 9 月 16 日 第 2 回製作分会開催

於 鉄骨橋梁会館 10 時より

1. S M 41 ~ H T 80 までの鋼材の溶接性試験共同研究案の検討について

★ 9 月 21 日 架設工事分会第 4 回関東班打合せ

於 協 会 ャ 議 室 9 時 30 分より

1. ストランドの製作について

★ 9 月 22 日 架設工事分会第 3 回関西班打合せ

於 日 立 造 船 (株) 9 時 30 分より

1. 主塔架設計画の検討

★ 9 月 30 日 架設工事分会第 5 回関東班打合せ

於 協 会 ャ 議 室 10 時より

1. ケーブルソケットの結論
2. ストランドの架設について

＝ 事 務 局 だ よ り ＝

行 事 報 告

★ 7 月

7 月 8 日 本州四国連絡道路調査事務所と打合せ

於 神 戸

- | | | |
|--------|--------------------------------|--------|
| " 11 日 | 輸送幹事会開催 | 14 時より |
| " 13 日 | 運営委員会開催 | 11 時より |
| " 14 日 | 市場調査幹事会開催 | 10 時より |
| " 15 日 | 労務幹事会開催 | 14 時より |
| " 16 日 | 首都高速道路公団羽横線願書提出 | |
| " 20 日 | 会報編集委員会開催 | 11 時より |
| " 21 日 | 本州四国連絡架橋調査委員会
本委員会開催 | 12 時より |
| " 25 日 | 長大橋研究委員会報告書出版
について打合せ | 14 時より |
| " 26 日 | 運営委員会開催 | 11 時より |
| " 27 日 | 資材幹事会 | 12 時より |
| " 28 日 | 東京湾横断架橋推進大会へ出席
於 ホテルニュージャパン | 12 時より |
| " 30 日 | 会報「橋建協」出来上り発送 | |

★ 8 月

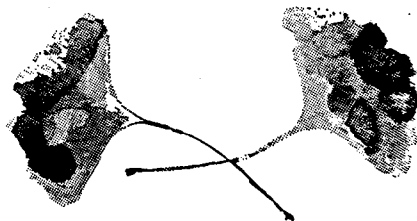
- | | | |
|---------|--|-------------|
| 8 月 1 日 | 橋本建設大臣就任祝事務局長参上 | |
| " 2 日 | 首都高速道路公団へ 60K 鋼使用実績調査
の提出 | |
| " 5 日 | 技術幹事会開催 | 10 時 30 分より |
| " 5 日 | 本州四国連絡架橋調査委員会
専門委員会開催 | 14 時より |
| " 8 日 | 運営委員会開催 | 11 時より |
| " 10 日 | 橋本建設大臣挨拶、会長、副会長、事務
局長同行 | |
| " 12 日 | 協会事務所 4 階より 2 階に引越 | |
| " 13 日 | 本州四国連絡架橋調査委員会製作分会
第 1 回関西班打合せ開催
於 日本橋梁 (株) | 14 時より |
| " 13 日 | 全上第 1 回関東班打合せ開催 | 14 時より |
| " 13 日 | 本州四国連絡架橋調査委員会
架設工事分会第 1 回関東班打合せ開催 | 14 時より |

8月15日 資材委員会にて鋼材入手状況調査の実施
 " 17日 第8回理事会開催 12時より
 " 17日 本州四国連絡架橋調査委員会
 架設工事分会第1回関西打合せ開催
 於 日立造船会館 9時より
 " 19日 技術委員会見学会開催
 北陸地方建設局施工「米山大橋」
 " 19日 技術幹事会開催 六日町
 " 22日 労務幹事会開催 15時より
 " 23日 輸送幹事会開催 11時より
 " 23日 輸送委員会講演会開催 13時30分より
 " 24日 本州四国連絡架橋調査委員会架設工事分
 会第2回関西打合せ 14時より
 " 25日 資材幹事会開催 13時より
 " 27日 本州四国連絡架橋調査委員会
 製作分会第2回関東打合せ 13時より
 " 27日 本州四国連絡架橋調査委員会
 製作分会第2回関西打合せ 11時より
 " 29日 新旧建設大臣歓送迎会開催
 (建設業関係11団体と共催)
 於 東京会館 18時より
 " 30日 本州四国連絡架橋調査委員会
 第2回架設工事分会開催
 於 日立造船会館 9時30分より
 " 30日 日本道路協会常務理事会に
 加藤副会長出席 11時30分より
 " 31日 日本道路公団小田原厚木道路事務所より
 橋梁架設費の見積について依頼あり。

★ 9 月

9月5日 運営委員会開催 11時より
 " 6日 技術幹事会開催 10時30分より
 " 7日 打 合 せ 会 14時より
 " 8日 東京湾横断架橋促進中央大会参加
 於 ホテルニュージャパン
 12時30分より
 " 8日 橋梁架設費の見積資料を日本道路公団小
 田原厚木道路事務所に提出
 " 9日 本州四国連絡架橋調査委員会製作分会第
 3 関東打合せ開催 13時30分より

9月9日 運営委員会開催 13時より
 " 9日 建設事業振興会主催講演会出席
 於 全共連ビル 10時より
 " 12日 労務幹事会開催 15時30分より
 於 「章」
 " 12日 本州四国連絡架橋調査委員会
 製作分会第3回関西打合せ
 於 汽車製造(株) 13時より
 " 13日 第9回理事会開催 12時より
 " 13日 本州四国連絡架橋調査委員会架設工事分
 会第3回関東打合せ 9時より
 " 13日 本州四国連絡架橋調査委員会
 架設工事分会第2回関西打合せ
 於 日立造船(株) 9時より
 " 16日 本州四国連絡架橋調査委員会
 第2回製作分会開催 10時30分より
 " 16日 技術委員会設計分科会開催
 10時30分より
 " 20日 建設省土木研究所主催「平行線ケーブル
 架設法に関する検討会」に参加
 於 私学会館 14時より
 " 21日 本州四国連絡架橋調査委員会架設工事分
 会第3回関東打合せ 9時30分より
 " 22日 本州四国連絡架橋調査委員会
 架設工事分会第3回関西打合せ
 於 日立造船会館 9時30分より
 " 28日 市場調査幹事会開催 11時より
 " 30日 本州四国連絡架橋調査委員会架設工事分
 会第4回関東打合せ 9時30分より



委員 会 名 簿

運 営 委 員 会

委員長 石 田 俊 夫 (石川島播磨重工業)
 委 員 小 椋 博 之 (駒 井 鉄 工)
 委 員 森 敏 夫 (三 菱 重 工)
 委 員 伊 藤 英太郎 (宮 地 鉄 工)
 委 員 中 谷 林之助 (横 河 橋 梁)

技 術 委 員 会

委員長 松 浦 作 造 (東 京 鉄 骨 橋 梁)
 幹 事 楯 淳 市 (石川島播磨重工業)
 幹 事 柴 谷 仁 人 (汽 車 製 造)
 幹 事 村 上 六 夫 (桜 田 機 械)
 幹 事 久 末 達 雄 (日 本 橋 梁)
 幹 事 上 野 誠 (日 本 鋼 管)
 幹 事 沢 口 俊 男 (日 立 造 船)
 幹 事 鍬 田 晴 司 (松 尾 橋 梁)
 幹 事 鎌 田 正 義 (三 菱 重 工)
 幹 事 小 池 修 二 (宮 地 鉄 工)
 幹 事 長 谷 川 鎔 一 (横 河 橋 梁)

技術委員会分科会

設 計 分 科 会

分会長 楯 淳 市 (石川島播磨重工業)
 中 谷 忠 男 (汽 車 製 造)
 村 上 六 夫 (桜 田 機 械)
 渡 辺 昭 一 (高 田 機 工)
 松 岡 亮 一 (東 京 鉄 骨 橋 梁)
 工 藤 哲 房 (日 本 橋 梁)
 関 沢 昭 平 (日 立 造 船)
 田 村 周 敏 (松 尾 橋 梁)
 雨 宮 守 男 (三 菱 重 工)
 冲 野 明 衛 (宮 地 鉄 工)
 菊 野 衛 一 (横 河 橋 梁)
 長 谷 川 鎔 一

製 作 分 科 会

分会長 久 末 達 雄 (日 本 橋 梁)
 金 谷 和 久 (川 崎 重 工)
 森 井 春 生 (汽 車 製 造)
 植 田 幸 男 (吳 造 船)
 宮 田 実 夫 (滝 上 工 業)
 田 中 茂 一 (東 京 鉄 骨 橋 梁)
 森 脇 良 一 (日 本 橋 梁)
 永 尾 慶 一 (日 本 鋼 管)
 三 田 利 武 (三 菱 重 工)
 金 山 哲 三 (宮 地 鉄 工)
 明 石 重 雄 (横 河 橋 梁)

架設工事分科会

分会長 池 田 肇 (横 河 工 事)
 菅 謙 一 (石川島播磨重工業)
 小羽島 正 義 (浦 賀 重 工 業)

川 田 忠 樹 (川 田 工 業)
 田 中 俊 二 (栗 本 鉄 工)
 今 村 能 久 (駒 井 鉄 工)
 加 藤 真 三 (日 立 造 船)
 江 田 暢 夫 (松 尾 橋 梁)
 小 塚 義 夫 (宮 地 鉄 工)
 奥 田 三 郎 (宮 地 建 設 工 業)
 日 戸 順 三 郎 (横 河 工 事)

市場調査委員会

委員長 御 園 一 雄 (横 河 橋 梁)
 幹 事 神 保 紀 (石川島播磨重工業)
 幹 事 鈴 木 久 門 (川 田 工 業)
 幹 事 酒 井 克 美 (駒 井 鉄 工)
 幹 事 伊 藤 健 二 (桜 田 機 械)
 幹 事 佐 久 間 正 生 (高 田 機 工)
 幹 事 末 松 幹 郎 (東 京 鉄 骨 橋 梁)
 幹 事 西 村 英 男 (日 本 橋 梁)
 幹 事 吉 国 祐 正 (日 立 造 船)
 幹 事 黒 瀬 庄 慶 (松 尾 橋 梁)
 幹 事 中 村 正 正 (宮 地 鉄 工)

労 務 委 員 会

委員長 田 中 敏 (宮 地 鉄 工)
 幹 事 前 沢 真 夫 (汽 車 製 造)
 幹 事 滝 沢 勝 衛 (駒 井 鉄 工)
 幹 事 佐 々 木 定 雄 (桜 田 機 械)
 幹 事 山 川 一 郎 (東 京 鉄 骨 橋 梁)
 幹 事 中 村 正 雄 (松 尾 橋 梁)
 幹 事 小 西 正 一 (横 河 橋 梁)

輸 送 委 員 会

委員長 北 川 孝 三 (宮 地 鉄 工)
 幹 事 稻 垣 米 之 助 (石川島播磨重工業)
 幹 事 政 岡 泰 治 (汽 車 製 造)
 幹 事 山 本 孝 治 (東 京 鉄 骨 橋 梁)
 幹 事 井 家 莊 吉 (日 立 造 船)
 幹 事 三 谷 博 勉 (松 尾 橋 梁)
 幹 事 田 口 誠 一 (三 菱 重 工)
 幹 事 杉 山 誠 一 (横 河 橋 梁)

資 材 委 員 会

委員長 岩 田 守 (宮 地 鉄 工)
 幹 事 多 田 正 稔 (駒 井 鉄 工)
 幹 事 佐 久 間 正 生 (高 田 機 工)
 幹 事 平 野 実 一 (滝 上 工 業)
 幹 事 細 井 慎 英 (東 京 鉄 骨 橋 梁)
 幹 事 西 村 哲 郎 (日 本 橋 梁)
 幹 事 廻 島 勝 三 (松 尾 橋 梁)
 幹 事 武 田 重 義 (三 菱 重 工)
 幹 事 田 重 義 (横 河 橋 梁)

本州四国連絡架橋調査委員会

〔本委員会〕

遠藤又吾 (石川島播磨重工業)
南保賀 (浦賀重工業)
大宮克己 (川崎重工業)
吉田四夫 (川田工業)
森正英 (汽車製造)
坂田静雄 (吳造船所)
稲垣茂樹 (駒井鉄工所)
小林武雄 (桜田機械工業)
三浦文次郎 (高田機工)
野末森次郎 (滝上工業)

松浦作造 (東京鉄骨橋梁)
久末達雄 (日本橋梁)
上野誠 (日本鋼管)
白崎直彦 (日立造船)
鎮晴司 (松尾橋梁)
鎌田正義 (三菱重工業)
近藤健武 (宮地鉄工所)
小川新市 (宮地建設工業)
住谷秀夫 (横河橋梁)
田中五郎 (横河工事)

〔本委員会〕

委員長 鎌田正義 (三菱重工業)

副委員長 松浦作造 (東京鉄骨橋梁)

〔幹事会〕

幹事長 鎮晴司 (松尾橋梁)
幹事 榎淳市 (石川島播磨重工業)
幹事 小池修二 (宮地鉄工所)
幹事 久末達雄 (日本橋梁)

幹事 上野誠 (日本鋼管)
幹事 住谷秀夫 (横河橋梁)
幹事 池田肇 (横河工事)

製作分会専門委員

分会長 久末達雄 (日本橋梁)
副分会長 明石重雄 (横河橋梁)
委員 金谷和久 (川崎重工業)
委員 森井春生 (汽車製造)
委員 植田幸雄 (吳造船所)
委員 渡辺昭 (高田機工)
委員 宮田実 (滝上工業)
委員 田中茂 (東京鉄骨橋梁)
委員 工藤哲 (日本橋梁)
委員 森脇良一 (日本橋梁)
委員 永尾慶一郎 (日本鋼管)
委員 三田村利武 (三菱重工業)
委員 金山哲三 (宮地鉄工所)

架設工事分会専門委員

分会長 池田肇 (横河工事)
副分会長 加藤真三 (日立造船)
委員 菅謙一 (石川島播磨重工業)
委員 小羽島正義 (浦賀重工業)
委員 佐伯礼行 (片山鉄工所)
委員 川田忠樹 (川田工業)
委員 田中俊二 (栗本鉄工所)
委員 今村能久 (駒井鉄工所)
委員 村上六夫 (桜田機械工業)
委員 大崎忠男 (東網橋梁)
委員 横森賢 (トビー工業)
委員 雨宮敏男 (松尾橋梁)
委員 小塚義夫 (宮地鉄工所)
委員 奥田三郎 (宮地建設工業)
委員 日戸順三郎 (横河工事)

会報編集委員会

委員長 石田俊夫 (石川島播磨重工業)
委員 松浦作造 (東京鉄骨橋梁)
委員 鎌田正義 (三菱重工業)
委員 酒井克美 (駒井鉄工所)
委員 御園一雄 (横河橋梁)

委員 中村正 (宮地鉄工所)
委員 田中敏 (宮地鉄工所)
委員 廻島哲郎 (松尾橋梁)
委員 北川孝三 (宮地鉄工所)
委員 額額八郎 (事務局)

役 員 名 簿

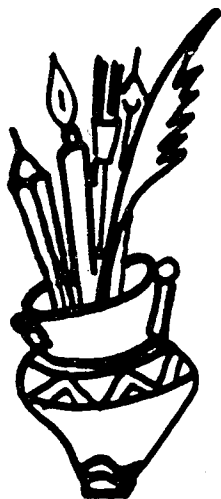
会 長	石川島播磨重工業株式会社	取締役社長	田 口 連 三
副 会 長	株式会社 横河橋梁製作所	専務取締役	加 藤 染 雄
副 会 長	株式会社 宮 地 鉄 工 所	専務取締役	冨 士 栄 一
理 事	三 菱 重 工 業 株 式 会 社	専務取締役	古 賀 繁 一
理 事	松 尾 橋 梁 株 式 会 社	常務取締役	高 田 稔
理 事	高 田 機 工 株 式 会 社	取締役副社長	三 浦 文 次 郎
理 事	日 本 橋 梁 株 式 会 社	取締役社長	光 永 一 三 男
理 事	株式会社 駒 井 鉄 工 所	取締役副社長	稲 垣 茂 樹
監 事	汽 車 製 造 株 式 会 社	取締役社長	笹 村 越 郎
監 事	川 田 工 業 株 式 会 社	取締役社長	川 田 忠 雄

会 員 名 簿

石 川 島 造 船 化 工 機 株 式 会 社	取締役社長	下 村 禮 輔
本 社・工 場 東京都江東区南砂町4-625	電話 東京 (644) 2131・9411 (代表)	
石 川 島 播 磨 重 工 業 株 式 会 社	代表取締役社長	田 口 連 三
本 社 東京都千代田区大手町2-4	電話 東京 (270) 9 1 1 1	
中 央 橋 梁 株 式 会 社	代表取締役	菊 地 康 次
本 社 愛知県知多郡上野町浅山新田地先	電話 上野町 (63) 1 2 5 5-7	
浦 賀 重 工 業 株 式 会 社	代表取締役社長	二 瓶 豊
本 社 東京都千代田区大手町2-4 (新大手町ビル7階)	電話 東京 (211) 1 3 6 1	
大 島 工 業 株 式 会 社	取締役社長	大 島 竹 一
本 社 横浜市南区井土ヶ谷中町136	電話 横浜 (73) 0832(代)~9	
株式会社 片 山 鉄 工 所	代表取締役	島 田 孝 治
本 社・工 場 大阪市大正区南恩加島町1	電話 0 6 (552) 1231 (大代表)	
片 山 鉄 骨 橋 梁 株 式 会 社	代表取締役社長	片 山 薫
本 社 東京都千代田区神田司町2-7 (福祿ビル6階)	電話 東京 (293) 4461 (代表)	
川 崎 重 工 業 株 式 会 社	取締役社長	砂 野 仁
本 社・工 場 神戸市生田区東川崎町2-14	電話 神戸 (67) 5001 (大代表)	

川 田 工 業 株 式 会 社	取 締 役 社 長 川 田 忠 雄
本 社・工 場 富山県福野町4610	電 話 福野 2101 (代表)
汽 車 製 造 株 式 会 社	取 締 役 社 長 笹 村 越 郎
本 社 東京都千代田区大手町2-8 (日本ビルディング)	電 話 (270) 6551(大代表)
株 式 会 社 栗 本 鉄 工 所	取 締 役 社 長 井 戸 崎 好 次
本 社 大阪市東区唐物町4-26 (太陽生命ビル内)	電 話 大阪 (251) 3431 (大代表)
株 式 会 社 呉 造 船 所	代 表 取 締 役 社 長 水 谷 卯 吉
本 社 東京都中央区八重洲2丁目3番地 中川ビル	電 話 東京 (272) 6711 (大代表)
株 式 会 社 駒 井 鉄 工 所	取 締 役 社 長 駒 井 英 二
本 社・港 工 場 大阪市港区北福崎西之町8	電 話 大阪 (572) 1112~8 (代表)
株 式 会 社 酒 井 鉄 工 所	取 締 役 社 長 酒 井 芳 申
本 社・工 場 大阪市西成区津守町西6丁目21番地	電 話 大阪 (661) 1331 (代表)
桜 田 機 械 工 業 株 式 会 社	取 締 役 社 長 桜 田 巖
本 社 東京都中央区銀座1-3	電 話 東京 (561) 2166 (代表)
佐 世 重 工 業 株 式 会 社	代 表 取 締 役 社 長 大 木 直 正
本 社 東京都千代田区大手町2の4	電 話 東京 (211) 3631 (代表)
高 田 機 工 株 式 会 社	代 表 取 締 役 社 長 木 崎 輝 雄
本 社・工 場 大阪市西成区津守町西6-1	電 話 (661) 5831~5・1271~5
滝 上 工 業 株 式 会 社	代 表 取 締 役 滝 上 清 次
本 社 東京都中央区湊町1-3	電 話 (551) 2254・2264・0019
株 式 会 社 東 京 鉄 骨 橋 梁 製 作 所	代 表 取 締 役 山 手 研 吾
本 社・工 場 東京都港区芝浦4-15-1	電 話 東京(451)1141~9・3958・8201~2
東 網 橋 梁 株 式 会 社	取 締 役 社 長 鈴 木 丹
本 社 東京都中央区日本橋茅場町1-4	電 話 東京 (669) 2361 (代表)
ト ビ ー 工 業 株 式 会 社	取 締 役 社 長 藤 川 一 秋
本 社 東京都千代田区四番町5番の9 (東亜ビル)	電 話 東京 (265) 0111 (代表)
檜 崎 造 船 株 式 会 社	取 締 役 社 長 水 田 正
本 社・工 場 北海道室蘭市築地町135	電 話 室蘭 (2) 1191 (代表)
日 本 橋 梁 株 式 会 社	取 締 役 社 長 光 永 一 三 男
本 社・工 場 大阪市大淀区長柄浜通1-1	電 話 (358) 1271 (代表)

日本鋼管株式会社	代表取締役社長 赤坂 武
本社 東京都千代田区大手町1-2	電話 (212) 7111 (大代表)
日本車輛製造株式会社	取締役社長 天野 春一
本社・名古屋支社 名古屋市熱田区三本松町1-1	電話 (861) 3311
日本鉄塔工業株式会社	取締役社長 有田 勇次郎
本社 東京都中央区銀座東4の4	電話 東京 (542) 3311 (代表)
函館ドック株式会社	取締役社長 合田 秀雄
本社 東京都中央区日本橋通2-3	電話 (272) 1731 (代表)
株式会社 春本鉄工所	取締役社長 春本 利雄
本社・工場 大阪市大正区南恩加島町1-151	電話 大阪 (552) 1461 (代表)
日立造船株式会社	取締役社長 永田 敬生
本社 大阪市西区江戸堀1-47	電話 大阪 (443) 8051 (大代表)
富士車輛株式会社	取締役社長 藤本 豊三
本社・工場 大阪府南河内郡狹山町大字池尻383	電話 登美丘 (7) 761
舞鶴重工業株式会社	代表取締役 赤松 茂
本社 東京都千代田区竹平町1 (パレスサイドビル)	電話 東京 (501) 5151 (代表)
松尾橋梁株式会社	取締役社長 北栄 弥三松
本社・工場 大阪市大正区鶴町3-110	電話 大阪 (552) 1551 (大代表)
三井造船株式会社	代表取締役社長 田中 繁松
本社 東京都中央区日本橋室町2-1-1	電話 東京 (279) 0511 (大代表)
三菱重工業株式会社	取締役社長 河野 文彦
本社 東京都千代田区丸の内2-10	電話 (212) 3111
宮地建設工業株式会社	取締役社長 宮地 武夫
本社 東京都文京区本駒込6丁目13番10号	電話 東京 (946) 5171~7
株式会社 仰地鉄工所	取締役社長 宮地 武夫
本社・工場 東京都江東区南砂町9-2470	電話 (645) 1141 (代表)
株式会社 横河橋梁製作所	取締役社長 横河 時介
本社 東京都港区芝浦4-4-44号	電話 東京 (453) 4111 (大代表)
横河工事株式会社	取締役社長 横河 時介
本社 東京都千代田区平河町2-7	電話 東京 (263) 0431 (代表)



— あ と が き —

第2号を発行するに当り会員各位の御投稿を期待していましたが一向に集らずに内容的には協会活動の行事報告（会報の主目的ではありますが）のみに終わってしまいました。第3号（明年1月末発行の予定）からは会員各位の御意見、随筆、海外旅行の見聞記等を載せたいと思いますので振って御投稿下さる様御願い致します。